

# 倉掛新聞

《発行所》  
倉掛自治連合会  
井原市井原町倉掛  
会長／中島順三

《編集》  
倉掛自治連合会  
倉掛少年団育成分  
倉掛消防分団第5

## 合併中心に質疑

### 市長「住民と行政は一体」

井原町政懇談会

市政懇談会「住民の意見を聞く会」が三月二十日、井原公民館で行われ、谷本巖市長をはじめ、市の幹部職員や各自自治連合会役員ら約六十人が出席した。

この懇談会は市町村合併特例法の期限が平成十七年三月末に迫り、井原市第五次総合計画などに関して、住民から広く意見を聞く目的で開かれたもの。

東森井原町自治連合協議会長の開会挨拶に続いて谷本市長が概要説明を行い、「現在、三千以上ある市町村を千程度にまで減らすよう、国が県を通じて要請している。日本全体が合理化を進めるべき状況」として、合併に前向きな考えを示した。

各質疑の中で中島順三倉掛自治連合会長は、「電算システム

井原町内八地区から持ち寄った質問や意見は、合併問題から子育て支援まで広範に及んだ井原公民館



身近な行政課題だけに出席者の表情は真剣だった

井原町内八地区から持ち寄った質問や意見は、合併問題から子育て支援まで広範に及んだ井原公民館



質問に答える谷本巖市長

導人が人員削減につながっているのか」と質した。これに対し松山総務部長は、「市民の皆様方の利便性を

#### 関連質疑

「山王台地開発の今後は」「少子化対策はどの様に」「備後地区との合併は」

●世界の生産拠点は今や中国に移りつつある。山王台地開発の今後はどうなるのか？中島（倉掛）  
谷本市長「企業誘致が厳しい時代。住宅団地を中心として一部に福祉ゾーンを設けたい」  
●少子化は深刻。若夫婦で子供二、三人を育てられぬ良策は杉原（下町）

山村民部部長「新生児指導や子育て家庭支援、子育てサポート等、五つの事業を活用して欲しい」  
●経済面を考えたとき、備後地区との合併も検討したら西江（夏目）  
谷本市長「今は市町村合併についての段階。県境を越えての合併は無い。最終決定権は国にある」

## 井原分団消防操法大会

### 第5部が連覇

#### 小型動力ポンプの部



優勝した第5部1班の消防操法＝井原小学校

図るものであり、大きく人員削減につながることは無い」との見解を述べた。倉掛が関係する井原駅前通り整備は、平成十五年度

完了見通しが示された。最後に谷本市長が「市民と行政は一体。皆様方と共にまちづくりを努めたい」と意欲的に締め括った。

消防井原分団操法訓練大会が二月三日、井原小学校グラウンドで開催され、小型動力ポンプの部で第5部一班が連覇を成し遂げた。第5部の大坪正和部長は「短い練習期間だったが実戦能力の高さを示せた」と表情を引き締めていた。三月十日には市団操法大会が開かれ、小型動力ポン

プの部は県主分団が優勝、平川貴章選手が出場した井原分団は2位だった。

- ▷小型動力ポンプの部  
優勝 第5部1班 (夏)  
指揮者 平川貴章 (倉)  
1番員 川相謙也 (倉)  
2番員 梶井克之 (倉)  
3番員 豊池秀之 (倉)
- ▷小型動力ポンプの部  
優勝 第5部2班 (夏)  
指揮者 佐藤重志 (夏)  
1番員 柳本兼一 (夏)  
2番員 笠原慶一 (夏)  
3番員 梶井克也 (夏)

#### 次期会長に大坪氏を選出

##### 自治会決算総会

平成十三年度倉掛自治会決算総会が三月二十三日、第5部消防機庫で開かれ、各組自治会長や民生児童委員ら約四十人が出席した。

自治連合会任期満了に伴う役員改選は、次期会長に大坪正広副会長を推薦し、満場一致で承認された。任期は四月一日より二年間。他の役員は大坪次期会長が指名し、四月の予算総会で承認を得る。

##### 森梅子さんに感謝状

昨年十一月末に退任した前民生児童委員の森梅子さんに対する感謝状贈呈、新任の渡辺悦己さんの紹介も本会で行了された。



協力に心から感謝しています」  
Q 住民の間で親しく集える場を求める声が高まっていますね  
中島「そのために倉掛公民館建設基金を創設しました。子供から

## 高齢化対策推進を

Q&A

倉掛自治連合会 中島順三 会長

Q 昨年実施した市内の施設めぐりは好評でしたね？  
中島「視野を広げることから新たな発想も生まれます。又の機会にも是非ご参加下さい」

Q 今後の自治会活動はどの様な形が望ましいでしょうか？  
中島「ボランティア精神に溢れ、高齢化にも対応可能な体質づくりが進めば素晴らしい」

Q 倉掛の皆様には一言――  
中島「経済不況や教育問題など、複雑な時代の波が押し寄せていますが、お互いに力を合わせて頑張りましょう。今後とも宜しくお願い致します」



# 仲間と楽しく



杜の市で活動する高田さん(左)と村上さん(右)

5-2組  
8組

## 櫛の杜でボランティア

### 村上博美さん 高田淳子さん

井原市門田町大谷地区で環境整備に取り組んでいる櫛の杜塾(藤井直彦塾長)で、倉掛五-二組の村上博美さんと同八組の高田淳子さんが地道なボランティア活動を続けている。

今月十七日には第四回植樹祭が行われ約百五十人が参加、開墾した約2000㎡にケヤキとモミジの苗木計五百本を植樹した。ふれあい広場では各イベントも行われ、恒例の杜の市は活気に溢れた。

村上さんと高田さんは、

この日も担当の焼きそばコーナーで調理に追われながら、「多くの人達とふれあうのが楽しみ。倉掛の皆様にも大勢来て頂きたい」と笑顔でPRに努めていた。

櫛の杜塾は平成十一年発足。約9畝を開墾し、ケヤキや桜など約三千本を植樹した。毎月第三日曜日の杜の市には約三十の店が並び、毎回賑わっている。



## 倉掛地内で初

### 利用客ら「便利ですね」

コインランドリーオープン

倉掛地内では初めてのコインランドリーが三月二十日、オープンした。

この店は倉掛十三-三組

倉橋誠さんが所有地を活用して始めたもので、店名は「青空」。大小十四台の洗濯機や乾燥機のほか、靴も洗える機器を備えている。

住民の一人は「フレスタに近く、買い物の際にも利用できるのが便利。オーナーの倉橋さんは「地元の方

## 倉掛ほっと情報

■倉掛地内のさくらの家で3月3日、お年寄りやボランティア約40人が集い、ひな祭りが行われた。四季折々の懐かしい行事を楽しんでもらおうと支援グループが企画したもの。参加者らは子供の頃を思い出しながら、ひな祭りの唄や折り紙、会食などで楽しい一時を過ごした。

■平成13年度倉掛婦人会(竹田京子支部長)がこのほど、第5部消防機庫へ座布団10枚を寄贈した。同婦人会は予算内で毎年、機庫に備品を寄贈するなど、地域の福祉向上を図っている。平成14年度倉掛婦人会役員5人は4月から一新する。

■興譲館陸上部で活躍した倉掛13-3組の藤井大輔選手が卒業直前の2月24日、芳井町の第15回天神峡ふれあいマラソンに出場。清流コースの部(6km)で総合優勝を飾った。同選手は5000mを15分50秒の実力者。4月からは日本原自衛隊で陸上競技を続ける。

- ◆ 行事予定 ◆
- 4/2 郷社氏子清掃 午前8時~
  - 4/4 郷社まつり
  - 4/4 倉掛少年団郷社清掃
  - 4/6 倉掛自治会14年度予算総会 午後7時~第5部機庫
  - 4/8 市内小中学校始業式
  - 4/9 市内小学校入学式
  - 4/10 市内中学校入学式
  - 4/11 市内幼稚園入園式
  - 4/13 資源の日 古紙・古着等収集 午前7時30分~9時まで
  - 4/20 自治連合会防犯パトロール
  - 4/21 井原町地区対抗球技大会 (井原小学校)
  - 5/12 第5部消防団試運転日
  - 5/18 自治連合会防犯パトロール
  - 5/19 倉掛地区全域清掃 期間=5/19~5/26
  - 5/19 岡山県消防操法訓練大会
  - 6/2 汚泥回収・消火器薬剤入替
  - 6/9 倉掛少年団廃品回収 午前8時30分~



平成十二年七月に福祉用具貸与事業者として、県の認可を

「創業は戦後間もなく。前身は高松木工と言うんですよ。今の倉掛の店舗で営業を始めたのは昭和四十七年二月です」と話すのは、(株)福屋本店の社長松井隆太郎さん。京都の大学を卒業してすぐに、父親の経営する家具店を継いだ。

以前は嫁入りタンス一式の売上割合が大きかったが「住宅事情の変化やオイルショック、流通関係などで家具業界にも波があった」と振り返る。

## 出合いの広場

得て福祉分野にも参入。店内には一割のレンタル料で使える介護用ベッドなどが展示された。細かなサービス精神が顧客の心を掴み、「最近になって介護保険制度を利用した電動ベッドの需要が急増しました」。

大切な顧客リストは先代からしっかりと受け継がれており、そのエリアも滅法広いのが福屋本店の強みなのだ。

家具販売業は赤ちゃん誕生から入学、結婚、新築、介護に至るまで、人生の節目ごとに顧客との信頼が深まる業界とも言えよう。

## 「長いお付き合いを」

(株)福屋本店 松井隆太郎さん



松井さん(右)と伊達さん(左)

## 郷社に変質者

### 空き巣や車上狙いも横行

#### 防犯情報

郷社境内で今月十七日午後四時半頃、変質者とみられる中年男性が女子小学生二人をトラックの影に誘い込み、自分の下腹部を見せつけようとした。被害は

無かったが、井原小学校では状況を重く受け止め、注意を呼び掛ける書面を児童の世帯に配付した。

一方、井原では最近、空き巣の被害が増えている。

井原駅前交番の情報によると深夜、飲食店などに忍び込み、金品を奪うなどの犯罪が横行。特に夜間無人となる店舗が狙われている。車上狙いも発生しており、「ハンドバッグ類は車内に置かないことが一番です」と警告している。

そのほか自転車盗難に至っては後を絶たず、警察では「鍵の掛け忘れがほとんど。僅かの時間でも必ず施錠する習慣を」と指摘している。